

令和5年度 学校だより

めざす児童像



春日小

- よく考える子ども（考える）
- 思いやりのある子ども（つながる）
- 無限の可能性をのばす子ども（かがやく）

第4号 令和5年6月30日（金）

発行 枚方市立春日小学校

大切にしたい2つの言葉

～「ありがとう」と「ごめんなさい」～

6月の児童集会で最近あった3つの心が温まるうれしいことの話をしました。その中の一つが『あいさつ』の話です。

『毎日東門でみんなの登校の様子を見ながら、なるべく一人ひとりの顔を見ながら「おはようございます」とあいさつをしています。すると、大きな声で「おはようございます」と返事が返ってくると、「あっ、今日も元気に登校してくれてよかった」とうれしい気持ちになります。でも、私がいさつする前に先に「おはようございます」と言われると、もっとうれしい気持ちになります。』とお話をしたところ、次の日から先に「おはようございます」と声をかけてくれる人の数がとても増えました。すぐに行動に移してくれる人がたくさんいて、もっとも嬉しい気持ちになりました。

コロナをきっかけに益々人と人との関係が希薄化しているとともに、些細なことでこじれてしまう脆弱性も持ち合わせている今の世の中。学校も同じで、子どもたちもそのような脆い人間関係の中で日々成長を続けていかなければなりません。そんな時に大切なことは、やはり、コミュニケーション力だと思います。コミュニケーション力を身につけるために『あいさつ』とともに特に大切にしてほしい言葉が、『ありがとう』という感謝の言葉と『ごめんなさい』の謝罪の言葉です。

人と人との関係が希薄になったとはいえ、まだ人との関わりを避けて通ることは難しいと思います。社会生活を営む上で人を思いやることもあれば、人から思いやりを受けることもあります。逆に人を傷つけてしまう言葉を発したり、行為をしてしまったりする場合があります。わかっている自分の過ちや間違いを素直に認められない、そんな気持ちになるときもあるでしょう。でも、その自分の感情と戦いながらも、『ありがとう』『ごめんなさい』を素直に言える子どもたちに育ててほしいと大人の誰しもが願うことです。

そんな子どもに育てていくために、子どもたちが思いやりや争いごとを体験したときに、『ありがとう』『ごめんなさい』を自ら言うことの心地よさに気づいていくことが大切ではないかと思います。家族や仲間たちの間で、『あいさつ』や『ありがとう』『ごめんなさい』が日常

的に交わされる環境の中で生活するうちに表現の仕方を学んでいくことができるのだと思います。

まずは私たち大人から照れくさがらずに始めてみませんか。子どもたちの前でかわす大人の『あいさつ』『ありがとう』『ごめんなさい』は世界で一番素晴らしい教えだと思っています。そして叱る前に、子どもから『ごめんなさい』を言うチャンスをつぶさず、少し待つことも頑張っていきましょう。



- 3日（月）個人懇談① 心
- 4日（火）個人懇談②
- 5日（水）個人懇談③
- 6日（木）個人懇談④
- 10日（月）諸費振替① 心
- 12日（水）風水害避難訓練・地区児童会・集団下校
- 13日（木）パッカー車体験（4年）
- 14日（金）児童集会 心
- 16日（日）春日校区夏祭り
- 17日（月）海の日（祝日）
- 18日（火）4時間授業 SC
- 19日（水）4時間授業 給食終了 大掃除（13：40頃下校）
- 20日（木）終業式（11：30頃下校）
- 21日（金）夏季休業日 諸費振替②

心は心の相談室
開室日
SCはスクールカウンセラー来校日
をあらわしています。

2学期初めの予定

- 8月25日（金）始業式（3時間授業）
- 28日（月）給食開始（4時間授業） 心
- 29日（火）5時間授業
- 30日（水）委員会（4～6年・6時間目）

【熱中症対策について】

- ・登下校中、マスクは外しましょう。
- ・登下校中の日傘もOKです。
- ・休み時間の外遊び中もマスクは外しましょう。
- ・十分な水分摂取をしましょう。（水筒を必ず持たせてください。）